

【岐阜県揖斐郡揖斐川町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」で述べられている「個別最適な学び」、「協働的な学び」を実現させるためには、1人1台端末の積極的活用はもちろんのこと、端末を活用するための高速大容量通信ネットワーク等ICT環境を充実させることが必要不可欠です。「個別最適な学び」、「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指します。

2. GIGA第1期の総括

GIGA第1期として、令和2年度末までに1人1台端末の整備をし、整備率100%を実現しました。また、ネットワークの整備については、令和2年度に町内全小中学校で実施し、GIGAスクール構想の実現に向けた校内通信ネットワーク環境を整備しました。

1人1台端末については、情報の収集、整理等個々での学びのツールとしての利活用、授業支援アプリを導入し、共同学習を目的とした利活用を進めてきました。また、1人1台端末の家庭への持ち帰りを可能とし、AIドリル教材を用いた家庭学習においても利活用を進めてきました。

GIGA第1期を総括すると、様々な利活用に関する取り組みを実施してきましたが、ICTの利活用状況には学校間で差が生じています。今後は、各学校のICT主任と教育委員会で連携をとりながら、課題解決に努めていきます。

3. 1人1台端末の利活用方策

「個別最適な学び」、「協働的な学び」の充実を図るべく、引き続き以下のように利活用していきます。利活用の前提として、公立学校情報機器整備事業を活用し、1人1台端末環境を引き続き維持することはもちろんこと、十分な予備機を整備する方針で端末を適切に更新していきます。

・積極的な利活用の推進について

GIGA第2期においては、タブレットOSがWindowsからiOSに変更になることから、教育現場の混乱を防ぐために教職員への研修を実施し、学校間で利活用の差が生じないように取り組みを進めていきます。併せて、ICT支援員の派遣をおこない、教育現場へのサポートを手厚くするよう検討を進めていきます。また、各学

校のICT主任と教育委員会で情報共有の場を設け、利活用における課題点整理、解決を進めていきます。

- ・ AIドリル教材の活用

AIドリル教材で学習することにより学習履歴データを蓄積し、一人一人の児童生徒に合わせた指導の個別化を進めていきます。

- ・ 学びの保証について

「誰一人取り残さない学びの保証」に向け、別教室や校内教育支援センター等においても同様に授業が受けられる環境づくりを進めていきます。また、特別支援や日本語指導が必要な児童生徒に対する支援として、様々な場面でICTを活用していくことを検討していきます。